

「東北発 2006年度 高校生国際化プロジェクト 100」

シリーズ
第3弾

国立大学より安く アメリカの大学へ行ける!?

国際教育&キャリアサポート

diBec 代表取締役 多田克士



一般的に留学と聞くと、「お金がかかりそう」「費用が高い」と思われがちです。高校生や保護者に「留学に年間どのくらい費用がかかると思いますか?」と聞くと、「500万」とか「1000万」など、莫大な金額の答えによく驚かされます。これは大きな誤解で、実は、海外の大学進学にかかる費用をより正確・綿密に調べていけば、日本の大学へ進学した方がむしろ費用がかかる場合が多いのです。特に、「国公立大学へ自宅から通う」場合以外は、海外の大学へ進学した方が割安になるケースが多いです。(下表参照)

今回の記事を通して、海外の大学進学が「実現可能なもう一つの選択肢」として十分に考えるだけの価値があることを認識していただきたいのです。進路の選択肢は多いほうがいい。最終的に本人が取捨選択すれば良いわけですから。生徒・保護者・先生方すべてが、「費用が高そう」という間違った先入観で、実現可能かもしれない選択肢を最初から除外するケースを少しでも無くしていきたいのです。そのためにも、少しでも海外の大学に興味がある場合は、次の3点を実行していただくことを提案します。

①海外の大学進学にかかる費用の正確な情報を収集する

②日本国内で取得可能な奨学金を調べる(日本学生支援機構

③海外の大学で奨学金を出してくれるところを調べる

弊社では、留学生に対して奨学金を提供してくれる数少ないアメリカの州立大学との提携を積極的に進めており、できるだけ費用的に無理のない留学の実現に努めています。このような大学の存在は日本ではほとんど知られておらず、留学の高い、という必ずしも正しくない認識を持ち、留学が実現しないケースが本当に数多く見られます。また、費用に見合っただけの力がつくのも、大学留学の大きなメリットの一つです。単なる語学留学とは違い、質の高い専門分野を勉強し、知識を習得できる事はもちろん、海外でやり遂げたという強い精神力、自立心、バイタリティ、加えて堪能な語学力を備えていますので、企業にとって即戦力となり得ます。つまり、大学留学は近い将来の自分への貴重な自己投資なのです。

生徒一人ひとりの夢や目標の実現のためのチャンネルの一つとして、海外への大学進学を考えてみてはいかがでしょうか。

～日本の大学 VS アメリカ州立大学
卒業までの4年間の費用比較表～

	(万円)				
	国立大学 (自宅)	国立大学 (自宅外)	私立大学 (自宅)	私立大学 (自宅外)	アメリカ 4年制大学
入学金	28	28	28	28	0
授業料	211	211	480	480	360
生活費	288	450	288	450	320
合計	527	689	796	958	680

文部科学省および全国大学生生活協同組合連合会調査による